

## 「三重県 心のノート」活用事例

校種	小学校	学年	6年	内容項目	4－(7)
主題名	郷土や国の伝統と文化を大切にすることを				
資料名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古きよき伝統 これまでも、これからも 松尾芭蕉</li> <li>「三重県 心のノート 小学校5・6年」(三重県教育委員会)</li> <li>・俳句を作ろう 「国語 六」(光村図書)</li> </ul>				
ねらい	日本の伝統文化と郷土の先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつ。				
展開	学習活動と主な発問			指導上の要点	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国語科で作った俳句をグループで交流し、感想を交換する。</li> <li>2 「三重県 心のノート」資料「世界に広がる俳句」を読む。 (発問)「日本をはじめ世界の人々に俳句が愛されている理由を考えよう」</li> <li>3 「三重県 心のノート」の「松尾芭蕉」を読む。</li> <li>4 三重県出身の松尾芭蕉の人生について、感想を交流する。 (発問)「芭蕉の人生について、思ったことや感じたことを交流しよう」</li> </ol>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの作品のよさに気づかせ、意欲を高める。</li> <li>・俳句が日本や世界で親しまれていることを押さえ、俳句のよさを考えさせる。</li> <li>・郷土の偉人の功績を知り、日本の伝統文化や先人の努力に興味をもたせることで、国や郷土を愛する心へつなげる。</li> </ul>	
他の教育活動との関連	社会科や総合的な学習等において、俳句以外の日本の伝統や文化、郷土の先人の努力などについて調べる。修学旅行で見学・体験した「能」について調べたものを新聞としてまとめ、掲示して交流。				
成果と課題	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが作った俳句を交流することで、「五・七・五」のたった十七音の言葉でそれぞれの子が感じたことや、思いをよせるところが、伝わりあうことを実感させることができた。共感したことや感想をやりとりする姿が楽しそうで、俳句の良さにふれさせることができた。</li> <li>・同じ県の出身者が、世に残り、世界からも注目されるような文化を大成させたことを嬉しく、誇りに思う子が多かった。</li> <li>・松尾芭蕉の生き様を知り、自分自身の生き方を考えることができた子もいた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界に広がる俳句」の研究不足で、英語で俳句を作るときの約束やきまり(形式)などを伝えることができなかった。</li> </ul>				